

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4(3)	老人会、愛育委員等の団体に会議への参加を積極的に呼びかけ社長に地域住民に対し福祉講演会をしてもらうのも一つの方法。	社長に地域住民に対し福祉講演会をしてもらう。	町内の方、老人会、愛育委員等の団体に会議への参加を呼びかける。また案内状を作成し配る。	6ヶ月
2	10(6)	家族が来訪した時職員は利用者の状態を詳しく報告するとともに家族の要望や意見を聞いてケアに関する要望はすぐに十減している。	まだまだ不十分な部分もあるので工夫をしながらレベルを高めたい。	家族は面会時、居室で話されたり電話で利用者様と直接話されるためなかなか内容を知ることが難しいが、利用者様とのコミュニケーションを高め少しでも要望を反映できるようにする。	6ヶ月
3	5(13)	災害対策 火災、地震、水害等の災害時、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身に着ける。	定期的に消防署の方に立会いしてもらい、夜勤をしている職員全員訓練を受ける。	今後の定期的な避難訓練時に夜間を想定した訓練を行っていく。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。